

事業番号	09 05 08	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特定鳥獣保護管理事業				担当課	部局	林務部
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室		
	施策の総合的展開	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進		E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H12 ～		

1 事業の概要

目指す姿	○野生鳥獣による人身被害の回避や、農林業被害及び自然環境への影響を軽減するため、捕獲により地域固体群を適正な生息密度で維持すると共に、被害防除対策、生息環境対策を総合的に実施することにより、野生鳥獣との緊張感ある棲み分けを目指す。 ○生息状況調査等の結果を踏まえ、科学的な保護管理を行うための特定鳥獣保護管理計画を策定し、計画に基づく総合的な保護管理を実施する。					
現状（予算編成時）	○野生鳥獣による農林業被害額はここ数年減少傾向にあるが、依然として高い水準にある。（H24農林業被害額 12億6千万円） ○ニホンジカが南アルプスや八ヶ岳などの高山帯へも侵入し、高山植物の食害などの被害も発生している。 ○ツキノワグマによる人身被害が毎年発生している（H24人身被害件数 7件）					
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」第7条に規定				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H26） 特定鳥獣保護管理計画の策定 1件 ・ニホンカモシカ 第4期 H27～H31					
	② 事業内容 （単位：千円）					
	項目	実施方法	H26事業実績		H27	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	特定鳥獣保護管理事業	直接	特定鳥獣保護管理検討委員会の開催(2回) 部会の開催(6回) ・イノシシ、ニホンザル 各3回 ・カモシカ、ニホンジカ、ツキノワグマ 各1回	940	823	
		合計	940	823	977	
事業コスト	区分(単位：千円)	24年度	25年度	26年度	27年度	
	前年度繰越					
	当初予算	816	1,209	940	977	
	補正予算					
	合計(A)	816	1,209	940	977	
	Aの財源	一般財源	766	1,159	890	927
		県債				
		国庫支出金	50	50	50	50
		その他	0	0	0	0
	決算額(B)	646	898	823		
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
	概算人件費(C)	8,258	8,258	8,258	8,258	
	概算事業費(B(A)+C)	8,904	9,156	9,081	9,235	
成果目標の達成状況	項目	H25末(実績)	H26		H27	
			目標	成果	達成状況	
	特定鳥獣保護管理計画の策定	2件	1件	1件	達成	
目標に対する成果の状況	対象獣種に係る科学的手法を用いた調査、被害状況の把握を通じて得られた知見を、専門家や関係者で組織する委員会において検討し、今後5年間の長野県の保護管理に係る指針となる特定鳥獣保護管理計画を策定することが出来た。					

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、対象となる獣種ごとに科学的知見の収集や、被害状況の把握に努め、計画的な生息個体数の調整と防除対策を実施することで、野生鳥獣との緊張感ある棲み分けによる、農林業被害の低減を図る。 平成27年度については、ニホンジカの計画策定に取り組む。